

「脳卒中サポートチームの介入が医療の質と効率 に及ぼす影響に関する研究」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2018年5月31日から2018年7月31日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

脳卒中患者さんは、高齢者や生活習慣病の増加により2020年には300万人を超すと予測されています。脳卒中は本邦の死因第4位で、その後遺症は寝たきりや要介護の主たる原因となっており、脳卒中に使われる医療費は他の疾患に比べて高額となっています。

小倉記念病院では、脳卒中患者の機能回復を最大限に支援することを目的として、標準化した介入を、超急性期から在宅復帰まで一貫してチームで行う、脳卒中サポートチーム(Stroke Support Team : SST)を2014年8月に発足し、脳卒中の医療の質と効率の改善を試みています。各チームはそれぞれの目標に従い、アウトカムの改善に取り組んでいますが、SST発足後の小倉記念病院における脳卒中医療の質や効率の改善を可視化し、評価したことはこれまでにありません。

本研究の目的は、当院の脳卒中医療の質や効率の改善を可視化し、SST発足前後におけるそれらの変化を明らかにすることです。

【研究の対象】

小倉記念病院において2013年4月から2016年3月の間に、入院加療した急性期脳卒中患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、重症度、手術情報、在院日数、医療費、退院時の転帰などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録やレセプト情報より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・関川 千鶴子の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益(効果や安全性など)が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としないのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 経営企画部企画広報課 担当者 関川 千鶴子
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）